

『写真・日本クモ類大図鑑』を出版した日本を代表する蜘蛛博士

千国 安之輔(ちくに やすのすけ)

豊科(成相 生まれは三郷楡)出身

〈千国安之輔が活躍した時代〉 1911 (明治 44) 年～2005 (平成 17) 年 享年 93 歳

| 明治 44 | 大正 | 昭和 | | | | | | | 平成 | | |
|----------|----|------------------------------------|-------------------------------------|----------------------------|----------------------|---------------------------------|-------------------|--------------------|----------------|--------------|---|
| | | 6～11 | 11～16 | 21～25 | 25～26 | 26～30 | 30～34 | 40～43 | 44 | 1 17 20 | |
| 三郷(楡)に誕生 | | ・木曾教育会生物調査委員として御嶽・駒ヶ岳・滑川の生物調査に当たる。 | ・南安曇教育会生物調査委員としてアルプスの昆虫類クモ類の調査に当たる。 | ・「理科カリキュラム」(文部省実験学校)を共述する。 | ・「日本アルプス山系の蜘蛛」を著述する。 | ・文部省科学研究助成で、「昆虫類クモ類の生態研究」を発表する。 | ・信濃教育会教育研究所員を務める。 | ・南安曇郡誌自然篇編集委員を務める。 | ・学研理科教育賞を受賞する。 | ・梓川中学校長を務める。 | 「写真・日本クモ類大図鑑」を出版 ↓ 二十年の歳月をかけて収録 退職 九三歳で永眠する。 |

『写真・日本クモ類大図鑑』によって日本クモ学の発展に多大な貢献



「節足動物の大部分の種類は、その同定の基準を雌雄の生殖器の構造においている。本書はクモ類の生殖器の構造を、スーパーマクロと言えるほどの超接写技術によって描写し、さらに生体時の色彩と上面からの全体写真を掲載した世界最初の写真図鑑であり、その後の日本クモ学の発展に多大な貢献をした画期的な出版物である。」
新海栄一 (日本蜘蛛学会自然保護委員会委員長 東京蜘蛛談話会会長)
『写真・日本クモ類大図鑑』改訂版 2008年3月より

『写真・日本クモ類大図鑑』の紹介 (著者自身による控え目な紹介)



- ①掲載されているクモは、すべて生体を標本形にして撮影したカラー写真なので、形態・色彩・斑紋などの特徴が視覚を通じて判別できる (全国のクモ 540 種の集大成。採集したクモの全体と1ミリ以下の細部構造を写真で撮影)
- ②種の分類に重要視される、雌・雄の生殖器のカラー写真が、ひとつおりの整えられている
- ③当時、類似の図鑑が、他にまだ出版されていなかった

梓川中学校の校長を退職後、野山へ出かけクモの調査をするため、運転免許を取得。20年の歳月をかけて大図鑑の収録に情熱を傾けました。

★千国安之輔のサイン入り本が 安曇野市「きぼう図書館」にあります。

教育者・研究者・写真家・文筆家 4つの顔を持つ千国安之輔

| 主な著作 | 出版社 | 発行年 | | 受賞等 |
|--------------------------|---------|--------|------|---------------------------------|
| 昆虫の生態写真集 飼育と観察の記録 | 暁教育図書 | 1960 | 昭和35 | |
| カメラがとらえた 虫たちの一生 | さ・え・ら書房 | 1968 | 昭和38 | サンケイ児童出版文化賞推薦受賞 |
| カメラがとらえた チョウとガの一生 | さ・え・ら書房 | 1969.1 | 昭和39 | |
| ウドンゲのなぞをとく 子ども科学図書館 | 大日本図書 | 1972.1 | 昭和47 | 青少年読書感想文全国コンクール課題図書 |
| たのしい理科教室・昆虫シリーズ7 ジョロウグモ | 主婦と生活社 | 1977.1 | 昭和52 | |
| たのしい理科教室・昆虫シリーズ11 クサカゲロウ | 主婦と生活社 | 1978.1 | 昭和53 | |
| オトシブミ 昆虫の本能のひみつをさぐる | 偕成社 | 1978.6 | 昭和53 | サンケイ児童出版文化賞大賞受賞 全国学校図書館協議会推薦 |
| 観察の本 (4) クモの親と子 | 偕成社 | 1980.1 | 昭和55 | |
| 観察の本 (6) クモたちの狩り(上) | 偕成社 | 1982.3 | 昭和57 | |
| 観察の本 (7) クモたちの狩り(下) | 偕成社 | 1982.3 | 昭和57 | |
| 観察の本 (8) クモの一生 | 偕成社 | 1983.4 | 昭和58 | |
| 観察の本 (10) ウドンゲとアリジゴク | 偕成社 | 1984.3 | 昭和59 | |
| 写真・日本クモ類大図鑑 元版 | 偕成社 | 1989.1 | 平成元年 | |
| 写真・日本クモ類大図鑑 改訂版 | 偕成社 | 2008.7 | 平成20 | |

『日本アルプス山系の蜘蛛』
1941 (昭和 16) 年 信濃教育会南安曇部会発行教科書としての役割を持たせてある。4年間にわたる調査。安曇野から日本アルプスにかけてのクモの1種ずつの記載。古い日本動物図鑑に数種のクモが載っていた程度の時代に、一教師が地元の標高 3000メートル級の高山で調査をし、106ページに及ぶクモ垂直分布報告書を作成！

残した言葉 安曇野が誇る蜘蛛博士 その情熱と草や虫と対話をする優しい心

『自分がクモを本格的にやり始めたのは定年退職してからだ。君もこれからが活動時期だよ。』(定年退職した後輩へ)
〈ログセ〉『ホー、こりゃ、ナンデシヨ。』
〈草や虫に話しかける〉『じゃー、これは何だかね。ほらほら、ほーかね、タマゲター。』

自然に対するおどろきや疑問、好奇心こそ、科学を発展させる原動力だと信じています。つねに疑問や問題をもって研究をかさね、その真実の姿を発見していくのは楽しいものです。



参考文献等：『写真・日本クモ類大図鑑』千国安之輔 1989 偕成社 『Acta Arachnologica』(日本蜘蛛学会 学会誌 8 月号)
『オトシブミ - 昆虫の本能のひみつをさぐる -』千国安之輔著 1978 偕成社 『クモの親と子』千国安之輔著 1980 偕成社
『クモの一生』千国安之輔著 1983 偕成社 『ウドンゲとアリジゴク』千国安之輔著 1984 偕成社 HP「安曇野市ゆかりの先人たち」